



金屋町通信

発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行責任者：般若陽子

編集責任者：般若慎一郎

金屋町通信を発行して丸2年が経過し、今号から3年目へ突入です。どこまで続けられるかは分からないところがありますが、これからも金屋町の小さな出来事などをお伝えしていきたいと考えていますので、どうかよろしくお願いたします。

台風が避けて通った

御印祭



宮川町（八番街）で子供踊り

6月19～20日に御印祭が開催されました。前夜祭の19日はこの時期には大変珍しい台風が来て、あわや直撃かという進路予報であったので、子供達の御印太鼓や踊りは早々に中止を決め、昭和通りに吊るしたぼんぼりを祭りが始まる前に撤収してしまうという異例の事態になりましたが、踊りは人数と時間を大幅に縮小して、石畳通りを流しました。

前田利長公の御霊のご加護があったものか、結果的に台風は予想よりかなり東よりを進み、雨風ともにたいしたことなく無事終了しました。

金屋町の宗泉寺と神妙寺を会場に

西村幸夫 町並み塾in高岡

5月26日、金屋町の宗泉寺本堂において「西村幸夫 町並み塾in高岡」が、約100名の参加者を集めて開催されました。西村さんは東京大学副学長で都市保全計画などを専門とし、世界遺跡記念物会議(ICOMOS)元副会長でもあります。

町並み塾は平成16年から石川県・福井県・富山県・愛知県で開催され、今回は第33回に当たります。富山県では5回目になりますが、高岡市での開催は初めてです。

ゲストとして新潟市都市政策部次長の池田博俊さんを迎え、役人の立場にとらわれない斬新なアイデアで新潟市内の歴史的町並みを紹介した「小路めぐりマップ」シリーズを作ったことなどの事例を発表していただきました。



市の文化財課と金屋町が協働で運営し、町並み塾では金屋町まちづくり協議会会長の般若陽子さんが司会を務め、会場を神妙寺に移しての懇親会では金屋町自治会事務局の嶋田一成さんが司会を務めました。

天明鋳物保存会代表が来訪

6月19日、栃木県佐野市から天明鋳物伝承保存会代表の若林洋一さんと副代表の若林秀真さんが、鋳物資料館へ来訪されました。若林さん達は、天明鋳物の歴史と文化を後世に伝えたいと「伝承保存会」を立ち上げて活動しています。

若林家に伝わる昔の鋳物用具が県有形民族文化財に指定されたが、これをいづれ国の重要文化財

に格上げしたいという思いから、一度高岡を訪問し鑄物資料館の見学とあわせて、高岡市の鑄物用具が国の有形民族文化財に登録になった経緯などを聞きたいとの申し出があったので、御印祭の日にあわせて来てもらったものです。

栃木県佐野市の鑄物産業は、940年頃に支配者であった藤原秀郷が河内丹南から5人の鑄物師を招き兵器類を鑄造させたことから始まり、千年以上の歴史があります。天明（江戸時代初期以前は天命）という地名から天明鑄物と呼ばれ、茶の湯釜、鳥居、梵鐘、灯籠、仏像、鍋釜、鋤鍬などいろんな物を作り、江戸時代初期が最盛期だったと伝えられます。

現在も営業している鑄物業者は大小合わせて約10軒ほどだそうです。「佐野ルネッサンス鑄金展」という一般公募の金属工芸作品コンテストが開催されていて、高岡から「かんか」のスタッフ達も応募し上位入賞もしています。



昨年の佐野ルネッサンス鑄金展において第2部門優秀賞を受賞した、かんかスタッフ新田翔さんの作品

空家対策の先進事例

八女町家再生応援団

福岡県の八女福島地区は、約400年前に整備された福島城下町の町割りを受け継ぎ、居蔵（いぐら）と呼ばれる土蔵造りの町家が連なる、江戸から明治期にかけて栄えた商家町です。国の重要伝統的建造物群に選定されているが、近年の少子高齢化・空洞化の進展により空町家が増加傾向となり、このままでは景観維持だけでなくコミュニティ維持が困難になりつつあるとの危機感から、平

成16年に「NPO法人・八女町家再生応援団」が発足した。

空町家を保存活用するため、家主の意向調査を行い借りたい人に紹介して、現在までに32軒を店舗・工房・住宅などに再生しました。

八女市には、応援団の他に「NPO法人・八女町並みデザイン研究会」という建築士や工務店からなる集団があり、応援団と連携して町家再生を技術面から支援しています。



塩屋だった町家を再生した「町家カフェしおや」

応援団代表の北島さんは、八女市役所に勤務し都市計画課長を最後にこの3月に定年退職して、NPO法人全国町並み保存連盟理事、NPO法人八女文化振興機構事務局長なども兼任し、八女市の町家とともに歴史や文化の保存・継承に全力投球している人です。

市役所勤務時に、既に決まっていた都市計画道路2本が伝建地区を分断する位置にあったことから計画に反対し、6年かけて計画を廃止させたという猛者であり、このような人材がいることが八女福島の強みだと感じました。

千保川サマークルーズ

4月に「千保川・桜クルーズ」が実施されましたが、8月11・12日に「千保川サマークルーズ」と銘打って再度実施することが検討されています。その際には金屋緑地公園でカフェを出店することも検討されているようです。